

(陳受30第17号)

東海第二原発の再稼働を行わないことを求めることに関する陳情

受理年月日

平成30年11月28日

陳情者

渡辺 美紀子

陳情の要旨

東海第二原発は、11月27日に営業運転40年、廃炉になっていない沸騰水型原発の中では最も古い老朽原発で、2011年3月の東日本大地震で津波にも襲われ、危機に陥った被災原発です。

11月7日、原子力規制委員会は、東海第二原発の40年を超える運転と保安規定変更を認可しました。しかし、同原発には可燃性ケーブルなど多くの「不合格」とすべき問題が存在しています。最近では耐震審査において、原子炉圧力容器スタビライザの応力値が許容値を超えていることが明らかになっています。このままでは地震が起きたときに、原子炉圧力容器が水平を保てず転倒し、接続している多くの配管が破損し、大規模な冷却材喪失事故となります。また、原子炉圧力容器の垂直が維持されなければ、制御棒の挿入もできず、核分裂反応を停止させる重要な機能を失うこととなります。

周辺30キロメートル圏内に96万人が居住し、東京まで約110キロメートルの東海第二原発は、事故のリスクを考えれば再稼働してはならない、廃炉にすべき原発です。

住民の健康と安全を守るために、東海第二原発の再稼働を認めず、廃炉にすることを求める下記内容の意見書を、武蔵野市議会から国に提出することを求めます。

記

放射能の被害から住民の健康と安全を守るために、運転開始から40年を超えて老朽化した東海第二原発の再稼働を認めず、廃炉にすること。